

第8回 吉川小学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日時： 令和3年3月18日(木) 午後7時～8時
場所： 山田錦の館
出席者： 山本貴美江 佐野喜晴 谷郷祐次 浦崎舞 井本玲奈
今村大介 生田佳美 阪本俊治 荒田のり子
大畑しづか 菊池真美 石野寛人 黒田リエ
西中記美代 福山育男 池町英克 市橋初美
藤川桂 山崎淑 長谷川珠里 富田佳泰
吉田健生 松本明紀 藤井克成 藤本恵美
事務局 西本則彦教育長 石田英之教育総務部長
横田浩一教育振興部長 坂田直裕学校教育課長
長池陽作教育施設課長 鍋島健一学校再編室長
山本智康学校再編室主査 小柳陽学校再編室主査
河賀健太郎学校再編室主査

1 開会

(委員長)

定刻になったので、今から第8回吉川小学校区統合準備委員会を始める。委員の皆様におかれては、ご多用の中ご出席をいただき、感謝申し上げます。最近、朝晩の気温差が大きく、体調管理に留意していただきたい。また、会食等の機会が多くなる年度末を迎えるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めていただきたい。くれぐれもご自愛いただきたい。

審議に先立ち、委員の過半数が出席されているので、本日の会議が成立していることを報告する。

本日、非公開事項に該当する内容があれば、お知らせいただきたいと思うが、皆様いかがか。

【非公開該当事項なし】

それでは、本日の会議についてはすべて公開として開催する。

令和3年4月にいよいよ統合するにあたり、今回の統合準備委員会は節目の会となる。そこで、教育長からご挨拶をいただきたく思う。

(教育長)

第8回を迎えるこの統合準備委員会にご参加いただき、感謝申し上げます。おそらく、この全体会が最後の会になると思われるので、一言お礼を申し上げます。

先日、3校で閉校式があり、私も参加させていただいた。「学校で学んだことや先輩や地域の方々の思いは、私たちがつないでいきます。」と発表した児童がおり、学校再編を進める立場の者として、身が引き締まる思いを抱いた。本当にいい閉校式であったと思う。

平成30年度から、学校再編に関して本格的な協議に入り、令和元年の10月にこの委員会を発足させていただいた。約1年半の長きにわたって、多くの意見をいただきながら、慎重に審議していただき、4月に統合を迎えることができた。委員の皆様には全体会をはじめ、複数の部会に参加して審議をいただいた。

総務部会では、校名や校歌・校章等の学校の根幹にかかわるような重要事項に関して、保護者や地域の方の意見をまとめながら、決定をしていただいた。

PTA部会については、東吉川小学校を含めて4校のそれぞれ違う学校組織を一つにまとめる重要な役割を果たしていただいた。

学校運営部会に関しては、それぞれの学校の特色を生かした学校づくりについて、幾度となく部会を開催され、次の新しいスタートが切れるように準備していただいたことに感謝申し上げます。

通学・安全部会に関しては、保護者の協力のもと、さまざまな要望を受け止めながら、通学方法を決定することができた。感謝を申し上げたい。

いよいよ、4月から新しい吉川小学校がスタートする。令和4年度には東吉川小学校も一緒になる。東吉川小学校については、統合準備委員会の部会として、引き続いて統合に向けて見守りながら協議を進めていただきたい。

委員の皆様においては、吉川小学校を見守っていただくとともに、改めて今までのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

(委員長)

ありがとうございました。この後、教育長は退出されます。

(教育長退出)

(委員長)

それでは、各部会長から部会での協議内容を報告していただく。部会長からの報告を受けて、質疑応答の時間を設ける。

その後、承認事項については、委員の皆様にお諮りする。

以上の流れを、部会ごとに行っていく。

円滑な統合を行うためにも、委員の皆様には、積極的にご発言いただきたい。

また、本日の会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1時間以内で協議を進めていきたいのでご協力をお願いします。

また、会議中も換気を行うことを了承願う。

2 報告事項

報告事項なし

3 各部会からの報告及び協議

(1) 総務部会

(部会長)

令和3年2月21日に3校の閉校式が無事に終了した。お手元にある各学校からの報告書及び神戸新聞掲載記事のご一読を願う。

吉川小学校で掲揚する新しい校章の入った旗については完成し、ここで披露する。

刺繍校旗については、4月の開校式に間に合うよう製作中である。

体育館舞台上の横幕の中央に掲げる新校章刺繍も製作中である。

体育館演台の校章も吉川小学校の新校章につけ直す予定である。

各学校の歴代校長の写真が多く、すべて吉川小で掲示することは難しいため、ファイルに保存して吉川小学校で保管する。歴代PTA会長の写真についても同様にして保管する。

備品等の引越作業は現在進行中である。中吉川小や上吉川小の使える備品は既存の備品と入れ替えるなどして、吉川小学校の学習環境を整えていく。3校の統合により、学習備品が充実し、4月から子どもの学習活動に生かしていく。

開校式については、4月7日(水)10時より教育長出席のもとで行う。始

業式はその後に行う。参加者については教育長、PTA 会長ほか、今後コロナの感染拡大状況を見極めながら検討していく。なお、式は児童・教職員のみで行い、保護者の参加については予定していない。

(委員長)

部会長より総務部会の報告をいただいた。また、閉校式の様子もそれぞれ綴っていただいている。皆様のご意見を伺いたいと思うが、いかがか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは、引き続き、PTA 部会の報告をお願いします。

(2) PTA 部会

(部会長)

前回の部会で PTA の会則及び細則等を作成した。今回はそれを配付して、改めて保護者に確認をいただいた。2月26日に第10回のPTA部会を開催し、ほとんど修正等の意見が無かったことを確認している。最終的な確認が終わっているので、3月12日に新PTA役員会議を開催し、決まったことを引き継いだ。

4月以降にならないと決まらないこともあるので、4月に入ってから総会前に吉川小学校の教職員と打合せを行う。

(委員長)

以上、PTA 部会の報告であったが、次に進めてもよいか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは引き続き学校運営部会の報告をお願いします。

(3) 学校運営部会

(部会長)

緊急事態宣言中は直接集うことはせず、メールや電話で連絡調整を行ってきた。各学校長のネットワークは、この統合準備委員会によってより強固なものになったと自負している。

魅力ある教育課程づくりについては、各校の人材バンクづくりを進め、統合校につなげていく。人材バンクづくりは、これで完成というわけではなく、

今後、まちづくり協議会等の皆様の協力を得ながら、拡充させていきたい。

メモリアルコーナー等については、各校の大変貴重な品物、例えば、卒業制作物や学校に寄付していただいた書道作品等を吉川小学校の校舎の一部に展示し、統合前の様子をいつも懐かしく思い出せるようなコーナーにしていきたい。1年後には、東吉川小学校の品物もそこに加わる。

2月26日に予定していた第3回交流事業については、緊急事態宣言が解除されず、中止とした。しかしながら、中吉川小・上吉川小の児童の通学練習のみ実施し、バスが到着してから、どのような動線で校舎に入っていくのかを練習した。

当日は、6台の通学バスが連なって入校してきた。4月からは委託業者が運行手順について、運転手と綿密な打合せを行うと思うので、今から報告するようなことはないと思うが、その日だけは、決めてない経路から入ってきたり、曲がり切れずに切り返しを何度か行ったりしながらの到着であった。

また、以前ここで報告した通学バスの経路について、考え直してほしいという声が地域から上がり、それを受けて学校運営部会として、通学安全部会から切り分けて引き継ぐということで調整させていただいた。

そこで、地域の方に通学バスの経路の再考を提案している。3月7日の五連自治会連絡協議会時に説明し、アンケートを通して意思決定をしていただいた。学校再編室や5人の自治会長とも相談して、この流れで行っている。

みなぎ台の坂の下から上ってきて一つ目の信号が一丁目の信号、もう一つ上の信号が2丁目の信号である。その2丁目の信号を右に曲がって、すぐまた右に曲がって、小学校に下りてくるという経路について、自治会にも諮り同意を得た。その経路を学校に向かう時はそのまま、下校時や車庫に向かう時は正門から出て左に下りていく、つまり1丁目の方に下りていくという新しい経路を提案しているところである。

保護者の送迎のルールについても前回報告させていただいたが、実際にそのルールがきちんと守られているかそうでないのかということも含めて、開校後も地域との調整が必要であると考えている。

総務部会から備品の移動についての日程を報告させていただいたが、一足先に第2図書室の整備を進めている。3月8日(月)に中吉川、上吉川から図書書の引越しを行い、コモンホールに第2図書室をつくっている。

みなぎ台小学校の児童はいつから第2図書室が使えるのか楽しみにしている。学校再編室には、書架の前に本の日焼け防止カーテンをつけてもらった。今後、上吉川小からピアノ等も届く予定である。みんなが集える場所であり、図書室であり、より整備されたコモンホールになることを願っている。子どもたちの活動につながる準備を進めていきたい。

2月12日に入学説明会を3校合同で行った際に、吉川小学校開校に向けて、保護者への案内冊子を配布した。また、入学児童保護者以外に在校生児童保護者にも同様のものを配布し、確認をしてもらっている。各校の教職員とも読み合わせを行い、課題を洗い出しているところである。PTA部会から報告があったように、事前に準備を整えているところであるが、準備どおりにいかなかったり、準備していてももう少し手を加えたりした方がいいということがこれからも多々出てくると思うので、このような流れでつないでいきたい。

家庭訪問については、吉川小学校では一斉にしない方針で、その代わりに個別懇談を全保護者に実施していきたい。

特別支援学級については、吉川小学校では知的学級を1学級、自閉・情緒学級を1学級開設する予定である。

知的学級は中吉川小学校の「ひまわり学級」という名称を継承し、自閉・情緒学級は上吉川小学校の「にこにこ学級」を引き継ぐ予定である。少しでも子ども達がスムーズに新しい学校に親しめるように努めたい。

校舎等の整備については、通学バスのロータリー工事を急ピッチで進めており、新学期には完全に整備されるものと考えている。木々の伐採や案内表示については、学校再編室と連絡調整し、順調に進めているところである。

次年度の交流事業及び吉川小学校と東吉川小学校の役割分担について、話し合いを進めている。

(委員長)

ありがとうございました。質問等はあるか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは続きまして、通学・安全部会からの報告をお願いします。

(4) 通学・安全部会

(部会長)

学校運営部会からかなりの点について説明があった。ロータリーの建設工事が遅れているということ、バスの進入路についても先ほど説明があったとおりであります。

バス乗車の時刻表（最終版）に基づいて運行を行い、課題が生じたときはその都度協議をしていく。

みなぎ台地区からのご意見については、バスルートを変えるとかという以前の問題として、今後保護者もいろんな理由で来校機会もあると思うので、今回の通学についてのルールをよく守っていただき、皆様の意識付けを行いながら、地域住民の方と円滑な学校運営ができるように進めていっていただきたい。

（委員長）

ありがとうございました。

報告事項に対して、皆様のご意見を伺いたいと思うが、いかがか。

皆様から質問等がないので、次に進めさせていただく。

事務局から連絡事項があったらお願いします。

4 その他

（事務局）

最後に連絡とお願いを申し上げる。

2枚資料を付けている。1枚は統合準備委員会の設置要綱であり、2枚目は東吉川小学校の統合準備部会（案）である。

令和4年度の東吉川小学校が統合するという方向性が決まっており、それに向けて、東吉川小学校と吉川小学校との統合準備が必要となってくる。これまで1年半にわたって、東吉川小学校が入って4校で統合に必要な骨格となる部分についてはほとんど準備が完成している。あとは東吉川小学校も入ってくるにあたって、やらないといけないことのみを相談する機関として、準備部会を立ち上げたいと思う。

部会についてはそこに記載している12名のメンバーでいきたい。教頭先生に出ていただく必要がない会議もあり、場合によっては10人で会議を進めていけたらと考える。

協議内容については、交流事業のあり方やバス停の最終的な調整を考えている。

統合準備委員会の下に東吉川小学校統合準備部会を設置する関係上、設置要綱を少し改訂した。「第6条の5その他教育長が必要と認める部会についてつくることのできる」という表現にしている。これに基づいて、東吉川小学校統合準備部会を設置していきたい。

ただ、全体会として統合準備委員会が会議する機会は、基本的には本日で最後になると考えている。東吉川小学校統合準備部会については傘下の部会となるので、ここで決まった内容については委員の皆様にもお知らせしたい。

顔を合わせての会としてはこれが最後と考えているが、あと1年間見守っていただきたい。会は開かないが、解散せずに見守っていただきたい。ご意見等があったらいただきたい。

(意見なし)

では、このような形で進めさせていただきたい。適宜、情報はメール等でお知らせしていく。

(教育振興部長)

本日は遅い時間に、またお疲れのところ、出席をいただき、本当に感謝している。1年半、何度も会議を重ねていただき、いろんな課題を協議していただき、また決定していただいたことに感謝申し上げます。おかげさまであと1か月も立たないうちに吉川小学校が開校する。まずは子どもたちが安全に安心して通い、楽しい学校生活を送り、新しい学校をつくってってくれるのが私たちの願いである。

今後、微調整していくこともあろうかと思うが、その際には教育委員会、学校、保護者の皆様とも協議していきながら、進めていきたい。

いったん、全体の会はこれで終了するが、引き続き子どもたちの見守りをお願いしたい。東吉川小学校の統合についても引き続き、お力添えをいただきたい。ありがとうございました。

(委員長)

ありがとうございました。

皆様と顔を合わせての会はこれで最後になる。令和元年10月に統合準備委員会を立ち上げて、1年6か月が過ぎた。その間、地域の方々のご理解、PTAの皆様、関係者の皆様、委員の皆様、教育委員会の皆様のご尽力で本日を迎えられた。お礼と感謝を申し上げます。

5 閉会

(副委員長)

教育長からは1年半という長きにわたってという言葉があったが、実際にこれだけの大きな統合を行う中で、1年半という期間は短い期間であったと感じる。

委員の皆様においては、数多くの決めごと等を進めていただいていた。おかげで、なんとか4月に吉川小学校を発足することができそうである。

ただ、吉川小学校という箱ができたにすぎないと捉え、今後この箱に何を詰めていくかということが大事なことになってくると考える。昔、まちづくり協議会の中で、子どもに求めるものは何かというアンケートを取ったことがある。大きな関心ごとが2つあり、1つは「学力向上」、もう一つは「社会性の育成」であった。どうすれば、これらの力を身につけさせられるかということについては、この統合準備委員会で話をすることはできなかった。

しかしながら、吉川小学校が発足した後は、「学力向上」や「社会性の育成」のために何が必要かということを経験任せにするのではなく、保護者や地域の皆様とともに考えて、よりよい学校をつくっていききたい。

この準備委員会で終了ではなく、学校運営に関しても、何らかの会議の機会をもっていただきたいと考える。

話は変わるが、私も上吉川の閉校式に参加した。いいなと感じたのは式の内容もさることながら、卒業生がたくさん来ていたこと。やはり、卒業生が来てくれる学校というのは、その学校が素晴らしかったということ、友だち関係も良好であったのではないかと感じている。人数が増えた新しい学校でも、子どもたちが仲良く過ごせるような校風が求められると思う。

これが終わりでなく、ここからスタートだという気持ちを抱いて、新しい吉川小学校を創って行っていただきたい。

みなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

(委員長)

みなさま、お疲れ様でした。

本当にありがとうございました。